

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と改善方途

全国の小学6年生、中学3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」で明らかになった本校の学力の傾向、生活習慣や学習環境に関する意識についてお知らせします。また、南学園で学力向上に向けての改善方策をまとめました。

◆学力に関する調査の結果から

		特に身に付いている内容	課題のある内容
前期課程 (6年)	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にすること ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが伝わるよう表現を工夫すること ・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること ・漢字を文の中で正しく使うこと
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を、□などを用いた式で表すこと ・グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること 	<ul style="list-style-type: none"> ・球や立方体の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと ・根拠となることを、言葉や数を用いて記述すること

		特に身に付いている内容	課題のある内容
後期課程 (9年)	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の全体と部分に注意して、主張と例示との関係を捉えること ・文章と図を結び付けて、内容を解釈すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えを伝える文章にするために工夫すること ・意見と根拠など情報どうしの関係についての理解
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたデータから、最頻値を求めたり、データの分布から四分位範囲を比較したりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・等式を目的に応じて式変形すること ・複数のデータを比較して傾向を読み取り、判断理由を数学的な表現で説明すること

<国語>

- ・自分の考えを記述する問題では無回答率が高くなっています。
- ・漢字を書く問題では無回答率が高く、正答率が低くなっています。

<算数・数学>

- ・根拠を言葉や式で説明したり、ある事柄が成り立つことを説明したり、証明したりするような記述式の問題の無回答率が大変高くなっています。

◆生活習慣や学習環境に関する質問紙の結果から

*「自分にはよいところがあると思うか。」 **自己肯定感**

㊦ 76%、㊧ 77%の児童生徒が自分のよさを感じていますが、全国や県の平均値と比較すると数ポイント低いです。これまで以上に、自分のよさを見つけ、伸ばし、発揮できる学校づくりを、児童生徒と教師で進めていくことが大切だと考えています。

*「将来の夢や目標を持っているか。」 **夢や希望**

㊦ 69%、㊧ 45%の児童生徒が“夢や目標を持っている”と回答しました。夢や目標を持つことが、毎日の生活にメリハリが出て、充実させることにもなるのですが、6年生の3割、9年生の5割が夢や目標を明確に持っていないことが心配です。仲間との生活、様々な体験活動等を通して、自分自身の将来像を確立していけるように、キャリア教育を充実させていきます。

*「学校に行くのは楽しいと思うか。」 **学校の楽しさ**

㊦ 85%、㊧ 82%の児童生徒が“学校に行くのは楽しい”と回答しています。誰一人取り残すことなく寄り添う学校をめざし、全員が楽しい学校生活を送れるようにしていきます。

*「平日、休日は、どれくらいの学習時間か。」 **家庭学習**

	6年：平日の学習時間が1時間以上 9年：平日の学習時間が2時間以上	6年：休日の学習時間が1時間以上 9年：休日の学習時間が2時間以上
6年生	47.3%	47.2%
9年生	38.6%	43.2%

平成の時代は、小学生の学習時間は(学年×15)分、中学生の学習時間は(学年+1)時間と言われていました。6年生で1.5時間、9年生で4時間が目安ですから、調査結果だけをみると、相当に少ない学習時間というわけです。自主的・計画的に進める学習にも取り組めるとよいです。

*「〇〇の勉強は好きか。」「〇〇の勉強は大切だと思うか。」

勉強について

「〇〇の授業内容はよく分かるか。」「〇〇で勉強したことは、将来社会に出た時に役に立つと思うか。」

	前期課程(6年生)				後期課程(9年生)		
	国語	算数	理科	英語	国語	数学	理科
〇〇の勉強は好きですか。	58.1%	65.4%	87.3%	54.5%	56.9%	47.7%	52.3%
〇〇の勉強は大切だと思いますか。	98.2%	96.3%		89.1%	95.5%	81.8%	
〇〇の授業内容はよく分かりますか。	83.7%	90.9%		81.9%	90.9%	70.4%	
〇〇の学習は将来役に立つと思いますか。	92.7%	100%			93.2%	75.0%	

「〇〇の勉強は好き」と回答する児童生徒の割合が低いです。内容が難しくなっていることも要因の一つですが、義務教育学校となり教科担任制が進められていますので、専門の先生が、これまで以上に教科の本質に迫る『わかる・できる授業』を進めていかなければなりません。

*「これまでの授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたか。」 **自分の考えをまとめ発表する**

㊦ 73%、㊧ 57%の児童生徒が“発表できた”と回答したことから、これまで表現する場が少なかったのだと推察できます。また、昨年度の学力調査の結果を受けて、今年度の南学園では『互いの考えを伝え合う力を育む学習活動』を重点として取り組んでいます。より一層、児童生徒が表現する場を設定します。そのために、自分の考えをもつ場を設定した上で、話すことや書くこと、記述するなどの力を育てていくようにします。

◆今後の改善方策

*国語科の授業(言語活動)を中心に、学校生活全体において“話す”、“書く”の場を十分に設定し、自分の考えをまとめたり、表現したりする力を伸ばせるようにする。

*算数・数学科の授業を中心に、考えの根拠を数学用語や式を使って記述(説明)する場をより多く設定することで、自他の考えを順序よくまとめられるようにする。

*家庭学習を充実(学習時間を確保)させていくために、学級担任や教科担任からの課題(宿題)の在り方、見届けの仕方を考えていく。

*どの教科の学習においても、学習した内容や考え方を、普段の生活で生かされていることを紹介したり、活用して課題解決できることを実感したりする場をもつことで、主体的に学習に向かう意欲を向上させる工夫をしていく。

*異学年交流などを通して協働的な学びを充実させることで、自分や仲間のよさを認識できる活動を増やしていくとともに、地域の力を借り、体験活動等を積極的に行うことなどキャリア教育を充実させていく。

*ICT機器を利用した学習は十分に実施できているので、さらに個別最適な学び(指導の個別化・学習の個性化)ができるように職員研修を重ねていく。

*児童生徒の学力向上、教師の指導力向上を図る研究を推進していく。

<研究主題>自ら求め 自ら伝え合い 自らの学びを深める児童生徒の育成

～互いの考えを伝え合う力を育む学習活動の創造～

(1)教科の見方・考え方を位置付けた単元指導計画の作成

(2)教科の見方・考え方を働かせ 仲間と学び合う指導方法の工夫

(3)自己の変容を実感できる振り返りと評価の工夫